



設備コストも低減できる空気輸送装置

鑄物砂を運び ユーザー拡大

佐久機工の空気輸送装置

【名古屋】佐久機
工（愛知県豊明市、
須江高雄社長、05

62・97・0530）

に採用、普及に拍車がかかった。設備コストも従来方式の10分の1に低減できる。

管内にコンプレッサーの圧縮空気を送り込んで粉粒体を輸送するのは従来と同じだが、同装置はノズルの形状を工夫、毎秒20リットル以下の管内での輸送速度を3リットル以下に緩めた。これにより、粉粒体の破碎や摩耗、砂に被覆したレシンのほく離などを防ぎ、品質を損なわずに空気輸送できる。

「自動車メーカーの厳しい選別眼をクリアし採用されたことで、当社の技術水準が証明された」（須江社長）として、引き続き粉粒体関連の輸送需要開拓に力を入れる。

の高濃度空気輸送装置のユーザー拡大に弾みがついている。不向きとされていた鑄物砂のレジンコンテッドサンドの空気輸送を可能にしたことが決め手となり、国内大手自動車メーカーが鑄造工程